

受験番号

【

氏名

】

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

田舎から親戚の結婚式の為に上京してきた父親(正勝)と週末を過ごすことになった息子(健吾)は、父親のリクエストで東京見物にきた。

十一月、タワーの足を吹き抜ける風は冷たかったが、真つ青な空に聳え立つ赤と白の鉄塔は美しかった。

「たいしたもんじゃない」

空を見上げた正勝の太い喉仏がゴクンと動く。父親に倣って、健吾も青い空を仰いだ。しばらく眺めているうちに、遠近感があやふやになり、青空を突き刺すタワーの④センチタンを、指先でつまめそうな錯覚に②陥る。

「こりゃ、鳶はそうとうドキョウがいるぞ……」

空を仰いだまま、正勝はその後もなにやら専門的なことをも「も」と呟いていたが、健吾にはそれらの言葉の意味が全く理解できなかった。ただ、先

日テレビで「プロジェクトX／東京タワー・恋人たちの戦い」の再放送を見ていたので、何となくだが、この巨大建造物の工事に③係った鳶職人たちがどれほどの苦勞をしたかぐらいは想像できた。

Dの息子とはいえ、健吾はその手の知識をまったく持ち合わせていな

い。高校のころは長い休みを利用して父の現場でアルバイトをさせてもらったこともあるが、任されるのは廃材をトラックの荷台に積み上げる仕事や、

単なる現場の⑥ソウジだけで、棟梁である正勝に、のこぎりの引き方ひとつ教わったことはない。どちらかと言えば、E親のあとを継ぐことより、さつ

さと家を出ることを考えろ、というタイプの父親だったので、息子のほうでも将来大工になっている自分の姿というものを一度も思い描いたことはなかった。

問一、傍線部Aとは何のことを言っているか、本文より抜き出して答えなさい。

問六、空欄Dに当てはまる語として最も適当なものを本文中より抜き出して答えなさい。

問二、二重傍線部①～③の漢字の読みを答えなさい。

問七、傍線部Eとはどういう父親のことを言っているか。その説明として最も適当なものを、次のア～オから選び記号で答えなさい。

問三、二重傍線部④～⑥のカタカナを漢字になおしなさい。

ア、息子に立派な大学に行ってほしいと願う父親

イ、息子に親の財産を期待してほしくない願う父親

ウ、息子にどこかで早く修行して戻ってきてほしい願う父親

エ、息子に一人で生活できるよう自立してほしい願う父親

オ、息子に早く結婚して孫を見せてほしい願う父親

問四、傍線部Bはどのような心境を現わしているか、次のア～オから選び記号で答えなさい。

ア、暑さで喉が渴いた様子

イ、高さに思わず緊張して見守る様子

ウ、登りたい気持ちを抑えられない様子

エ、言いたい言葉が出てこない様子

オ、楽しいことが終わってしまうのを惜しむ様子

問五、傍線部Cの説明として最も適当なものを次のア～オから選び記号で答えなさい。

ア、見て見ぬふりをする

イ、あることを手本としてまねる

ウ、教わったことを身につける

エ、目上の人の考え・命令などに従わずにさからう

オ、注意して人の話を耳にとめる

二 次の傍線部のカタカナを漢字になおさない。
(送り仮名が必要な場合もある)

- ① 事件現場には挙動フシンな人がいた。
- ② 患者さんの身体をササえる。
- ③ 三年間の学業のコウセキが認められる。
- ④ 今回のテストの出来はカンペキだ。
- ⑤ カゼは万病のもとだ。

三 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① テスト中は教室が張りつめた雰囲気だ。
- ② 一人で雑踏の中を歩く。
- ③ 彼は朗らかな性格だ。
- ④ 最後の大会は執念で勝ち残った。
- ⑤ 彼の態度に憤りをおぼえた。

四 次の二字熟語の対義語を書きなさい。

- | | |
|------|------|
| ① 鋭角 | ② 悪意 |
| ③ 平凡 | ④ 鈍感 |
| ⑤ 前進 | ⑥ 直接 |
| ⑦ 権利 | ⑧ 起点 |

五 次の() に体の一部を表す漢字一字を入れて慣用句を完成させなさい。
また、その慣用句の意味を語群から選り記号で答えなさい。

- ① () を明かす
- ② () の皮が厚い
- ③ 後ろ () を引かれる
- ④ () を隠す
- ⑤ () が出る

【語群】

- ア、出費が多く、予定していた金が足りなくなる。
イ、他人の成功や物事の進行を妨害する。
ウ、恥を恥とも思わない、厚かましい様子。
エ、心残りだったり未練があつたりして思いきれない様子。
オ、相手を出し抜いて、あつと言わせる。
カ、人に顔を合わせることができないほど恥じ入る様子。
キ、才能を人に見せないようにすること。

六. 次の文を読み、適切な敬語であれば○を、間違いがあれば、その部分を適切な敬語に直しなさい。

- ① こちらのお菓子は、皆さんでいただいてください
- ② 先生はもうお帰りになられました。
- ③ 明日、もう一度お越しくください。
- ④ コーヒーと紅茶、どちらにいたしますか。
- ⑤ 社長はこの資料をご覧になりましたか。

七. 次の文の傍線部が適切な言葉つかいであれば○を、間違いがあれば、正しい日本語に直しなさい。

- ① 明日は、休まさせていただきます。
- ② 朝早く起きなかったので、遅刻してしまった。
- ③ もっと速く蹴れるようになりたいです。
- ④ 嫌いだったニンジンも大人になって食べるようになった。
- ⑤ 一言私にも言わさせてください。

八. 例を参考にして、①～②のそれぞれの語句を用いて、語句の意味がよくわかるような、主語・述語が入った短い文を作成しなさい。

【例】「目の敵」

一郎君は、なぜか太郎君から目の敵にされている。

- ① 「一朝一夕」
- ② 「手に汗を握る」
- ③ 「足もとを見る」